

やさしい中学歴史 5-1 チェック問題 氏名

- (1) 大和政権の課題の一つは、力をつけてきた〔① 氏〕などの豪族をおさえ、国内の政治を安定させることだった。また当時の中国にあった〔② 〕に對抗できる力をつけて、朝鮮半島に影響を残すことも課題だった。そのためにも天皇の力を強める必要があった。
- (2) 歴史上で初めての女性天皇が〔① 天皇〕である。そのおいてある〔② 〕が代わりに政治を行った。このように天皇の代わりに政治を行う役職を〔③ 〕という。蘇我氏一族のリーダーである〔④ 〕の協力も得ながら、政治を行った。
- (3) 聖徳太子は 603 年、家柄などに関係なく、才能や功績のある人を役人にとりたてる制度である〔① 〕を定めた。また 604 年には、朝廷の役人の心構えを示した〔② 〕を制定した。また聖徳太子は〔③ 儒教 / 仏教〕を保護した。現存する世界最古の木造建築物である〔④ 寺〕を建てた。
- (4) 聖徳太子は中国との対等な関係を目指し、607 年に〔① 〕らを中国に派遣した。これを〔② 〕という。
- (5) 聖徳太子の時代に栄えた文化を〔① 文化〕という。日本最初の仏教文化であり、法隆寺の〔② 〕が代表的である。

(1)①	(1)②	(2)①
(2)②	(2)③	(2)④
(3)①	(3)②	(3)③
(3)④	(4)①	(4)②
(5)①	(5)②	

やさしい中学歴史 5-2 チェック問題 氏名

- (1) 7世紀前半、中国では〔①〕が滅び、〔②〕が中国を統一した。その進んだ政治制度や文化を学ぶため、日本からも〔③〕が派遣された。
- (2) 聖徳太子の死後、蘇我氏が天皇をしのぐほどの力を持ち、独裁的な政治を行った。それに対する不満が高まり645年、〔①〕は〔②〕らの協力を得て、蘇我蝦夷と入鹿の親子を倒した。646年、改新の詔が出され、政治改革が始まった。これを〔③〕という。
- (3) 663年、百済の復興を助けるため朝鮮半島に出兵した。これを〔①〕の戦いという。しかし日本と百済の連合軍は、唐と新羅の連合軍に敗れた。これにより日本は朝鮮半島での影響力を完全に失い、唐と新羅が日本に攻めてくる恐れも出てきた。そこで九州北部を守るため〔②〕と呼ばれる兵士を置いた。
- (4) 中大兄皇子は〔① 天皇〕となり、天皇中心の国づくりを行った。唐と新羅をみならって〔②〕にもとづく政治を目指した。そのために日本で初めての全国的な戸籍である〔③〕をつくった。
- (5) 天智天皇の死後、息子の中大兄皇子と弟の大海人皇子の間で、天皇の地位をめぐる672年に戦いが起きた。これを〔①〕の乱という。弟の大海人皇子が勝利し〔② 天皇〕となった。都を飛鳥に移し、天皇中心の政治を目指した。またこの頃、日本最古の貨幣である〔③〕がつくられたといわれている。
- (6) 701年〔①〕が制定され、律令政治が実現した。豪族は高い身分などが与えられ〔②〕と呼ばれるようになった。そして国ごとに中央から〔③〕を派遣し、行政を担当させた。土地と人民は天皇のものとする〔④ 制〕が実施され、6歳以上のすべての男女に〔⑤〕という農地を与え、その人が死ぬと国に返させた。これを〔⑥ 法〕という。
- (7) 税制改革も行われた。口分田の収穫量の約3%の稲を納めることを〔①〕という。地方の特産物を納めることを〔②〕という。都で労働をするか布を納めることを〔③〕という。その他、国司のもとで労働させる〔④〕もあった。以上のような改革、大宝律令は〔⑤〕を中心に作られた。

(1)①	(1)②	(2)①
(2)②	(2)③	(3)①
(3)②	(4)①	(4)②
(4)③	(5)①	(5)②
(5)③	(6)①	(6)②
(6)③	(6)④	(6)⑤
(6)⑥	(7)①	(7)②
(7)③	(7)④	(7)⑤